

JLMA®

The Japan Lock Manufacturer's Association

34

2023.7

会報 2023.7 VOL.34

特集 「第24回定時総会」報告



日本ロック工業会 



桜の花びらから覗く皇居北桔橋門

特集

「第24回定時総会」報告

- 議案内容
- 第1号議案 第24期事業報告書承認の件
 - 第2号議案 第24期収支決算書承認の件
 - 第3号議案 第25期事業計画(案)承認の件
 - 第4号議案 第25期収支予算(案)承認の件
 - 第5号議案 役員選出(案)承認の件

CONTENTS

組織図・会員会社	3
2022年度 総会・理事会・部会活動経過	4
2023年度 事業計画	6
関連資料(業務・研修部会)	7
JLMA TOPICS	8
JLMA通信	9
会員会社情報	10

特集 「第24回定時総会」報告

第24回定時総会会長挨拶

本日は皆様方におかれましては大変お忙しいところ、またご遠方より日本ロック工業会第24回定時総会にご臨席賜り誠に有難うございます。

日頃は、当工業会の運営にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

総会で皆様とお会いするのは2019年以来4年ぶりでございます。長引くコロナ感染症の分類が「5類」に引き下げられ、今後は更なる経済活動の活発化とともに市民生活も安定し、皆様の事業と共に日本ロック工業会も飛躍していることを期待しております。

このような状況のなか、昨年錠前に関する情勢ですが、国土交通省が発表した2022年の住宅着工戸数は前年比0.4%増の859,529戸であり、2年連続で増加となりました。(持ち家は前年比11%減の253,287戸と落ち込み、分譲住宅は前年比4.7%増の255,487戸と好調で、分譲のうちマンションは前年比6.8%増108,198戸、戸建て住宅は前年比3.5%増の145,992戸であった) 今後も継続していくことを願うところです。

また、刑法犯認知件数は平成15年以降一貫して減少傾向であったが、令和4年は601,389件前年比5.9%増であった。増加は街頭犯罪(自転車盗、障害、暴行が増加)と特殊詐欺、サイバー事案があげられる状況でありました。また、侵入盗認知件数36,588件の前年比1.8%減であったことをご報告します。

さて、私が会長職を仰せつかり、早いもので15年が経過し、JLMAとの関わりは、1996年の日本ロックメーカー懇談会の発足依頼27年が経ちました。そして、2022年度も副会長、監査役、理事の12名体制により活動して参りました。

本日は、昨年の総会にて皆様方からご賛同頂きました基本方針は全て計画通りに推移しており、4月20日の理事会

において、2022年度の事業報告と2023年度の事業計画について承認されましたが、本日の総会におきまして皆様方より最終の承認を頂戴いたしたく存じますのでよろしくお願い申し上げます。

JLMA2023年度基本方針として4項目の事業活動を行って参ります。

1. 錠の規格・基準・審査規定の制定および開示
2. 錠の正しい知識(安全性・耐久性)の啓蒙活動
3. 関係官庁との情報収集
4. 人材育成(JLMA会員対象)

の4項目です。新年度におきましても引き続き活発な活動を続けて行けるよう皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

本日、お伝えしたいことは、住宅用内装錠の規格について議論が始まったことです。実用性能審査会で進めてまいりましたが、将来は輸入製品への対応としても有効であり、経済産業省も関わることでJLMAの存在価値も高まっていくこととなります。外国製品を対象とする規格がなかったがゆえに今後の展開において、しっかりした成果に繋がっていくのではないのでしょうか。

次に、CP製品に関してはメカからメカトロニクス、エレクトロニクスへと時代が進み、電気錠の扱い方を整理する時代となってきました。今までのJLMAの活動は間違っていなかったと認識するとともに、防犯性能をどのように評価していくか方向性を見出していかなければならない重要な課題です。

JLMA内も世代交代の時期に入っております。新旧のメンバーの知識の継承はしっかりと行ってまいります。

JLMA活動を発展させるには、多くの方々のご意見をまとめ反映することが必要と考えます。理事の皆様のご意見、正会員および賛助会員の皆様のご意見、行政のご意見を参考として、統括したものをJLMA活動に活かすことが不可欠であると考えております。頂いたご意見をしっかりと判断したうえで、業界の発展に繋げてまいります。

次に、今年度のJLMA役員の人選ですが、昨年度まではコロナ感染症拡大の状況下のなか、私が会長職を担うことで、事業を速やかに進めていくことを念頭に、副会長、監査役、理事12名の体制で活動して参りましたが、先日の理事会において今年度より10名体制で運営していくこととなりましたことをご報告するとともに後ほど審議をお願いいたします。

今後も当工業会にご協力・ご尽力をいただいている会員ならびに運営に携わる担当者の皆様には改めて御礼を申し上げるとともに、日本ロック工業会の行動に誇りと自覚を持って、新年度も当工業会の活動にご協力頂きますようお願い申し上げます。本日は今後のJLMA発展のためにご意見を頂きたくお願い申し上げます。

感染症による厳しい状況下のなか、現役員の皆様、各部長はじめ担当者の皆様の積極性と献身的対応に心から敬意を表し厚くお礼申し上げます。

新年度におきましても各部会が精力的に効率よく活動し、会員の皆様へのご期待に沿った活動展開を期待しております。

会員各位に於きましては今後も日本ロック工業会の行動に誇りと自覚を持って、今年も当工業会の活動にご協力頂きますようお願い申し上げます。



理事の皆様



会員の皆様



議長の加藤会長 佐佐木業務・研修部会長



青木技術部会長 土井実用性能審査委員長



栄木CP審査委員会委員長 木村事務局長



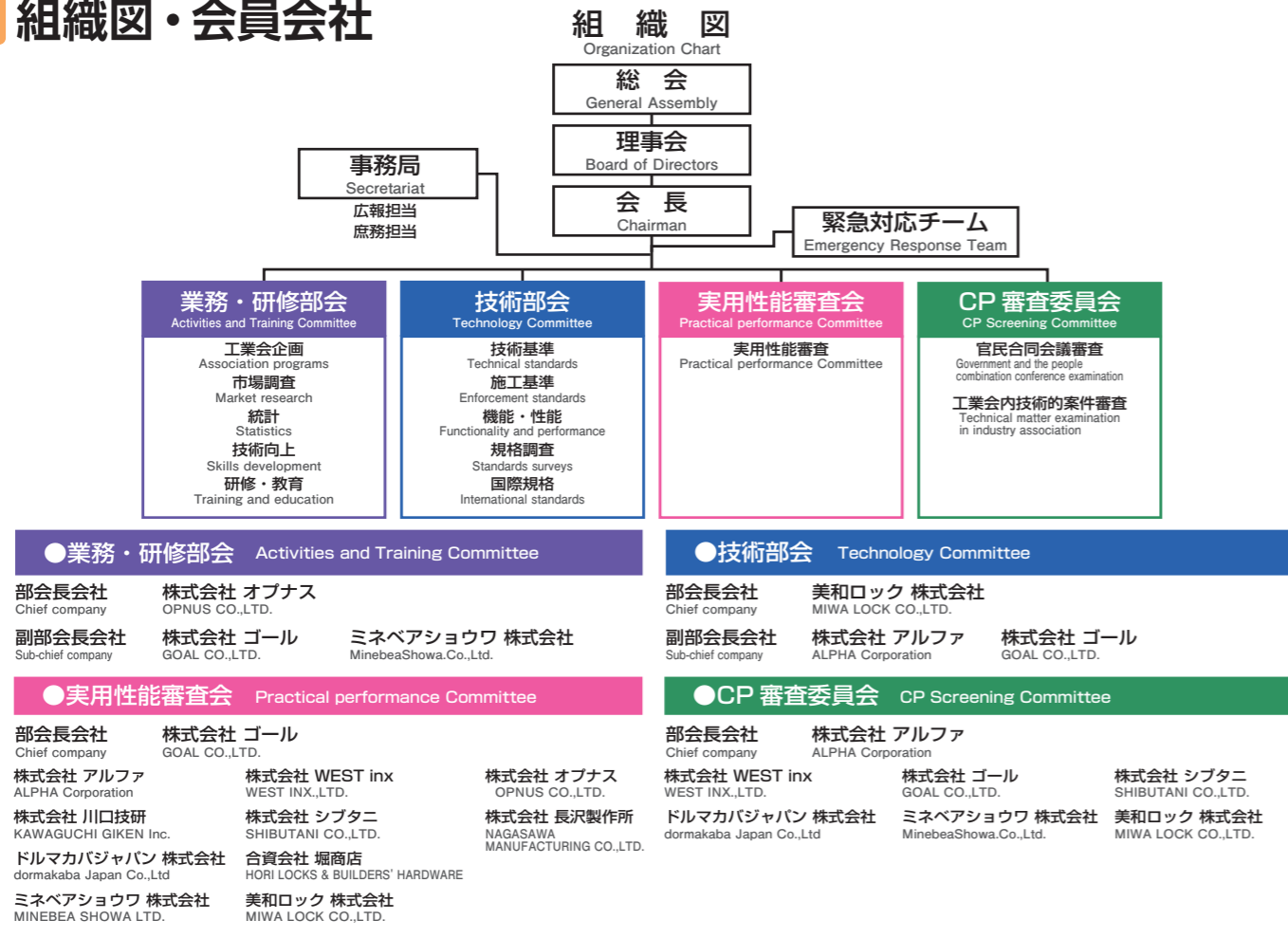
監査報告の加藤監事

事業目的

暮らしを見つめ社会を支え未来を築く「キーステーション」それが JLMA®(ジルマ)です。

- 1 使用者が適正な錠選択ができるよう、安全に関する錠の規格、基準、審査規定の制定および開示
- 2 エンドユーザーに対する錠の正しい「知識」と「防犯・防災」の啓蒙
- 3 関係業界との良好な関係の維持・発展
- 4 関係官庁との情報収集と情報提供
- 5 会員相互及び関係業界との連絡・相談の窓口
- 6 国際競争力の強化の方策
- 7 関連海外規格資料の調査整備
- 8 錠前取扱技術者資格認定制度の制定
- 9 ISO規格・JIS規格等の各種規格の整合性に関すること
- 10 関連法律に対する業界の統一対応

組織図・会員会社



正会員 (五十音順)

Regular Member

- 株式会社 アルファ ALPHA Corporation
- 株式会社 WEST inx WEST INX CO.,LTD.
- 株式会社 オプナス OPNUS CO.,LTD.
- 株式会社 川口技研 KAWAGUCHI GIKEN Inc.
- 株式会社 ゴール GOAL CO.,LTD.
- 株式会社 シブタニ SHIBUTANI CO.,LTD.
- 株式会社 ジャパンモドリック Japan modric Ltd.
- 東洋シャッター株式会社 TOYO SHUTTER CO.,LTD.
- 株式会社 長沢製作所 NAGASAWA MANUFACTURING CO.,LTD.
- ドルマカバジャパン 株式会社 dormakaba Japan Co.,Ltd
- 株式会社 日中製作所 HINAKA MFG CO.,LTD.
- 株式会社 ベスト BEST Inc.
- 合資会社 堀商店 HORI LOCKS & BUILDERS' HARDWARE
- ミネベアショウワ 株式会社 MinebeaShowa Co.,Ltd.
- 美和ロック 株式会社 MIWA LOCK CO.,LTD.
- 株式会社 ヤナイ YANAI COMPANY LTD.

賛助会員 (五十音順)

Supporting Member

- 株式会社 アート ART JAPAN CO.,LTD.
- アイホン 株式会社 AIPHONE CO.,LTD.
- アトムリビントック 株式会社 ATOMLIVINTECH CO.,LTD.
- 株式会社 Keiden KEIDEN SANGYO CO.,LTD.
- 共栄工業 株式会社 KYOEI INDUSTRIES Co.,LTD.
- コマニー 株式会社 Comany Company Limited
- 株式会社 構造計画研究所 KOZO KEIKAKU ENGINEERING Inc.
- 株式会社 五味製作所 Gomi Company Limited
- 杉田エース 株式会社 SUGITA ACE CO.,LTD.
- 株式会社 セキュリティハウス神姫 Security house Shinki CO.,LTD.
- 株式会社 ソリッドプラス SOLID PLUS CO.,LTD.
- 株式会社 大黒製作所 DAIKOKU DOOR LOCK CO.,LTD.
- 株式会社 ダイワロック Daiwa Locks CO.,LTD.
- タキゲン製造 株式会社 TAKIGEN MFG. CO.,LTD.
- 株式会社 東海理化電機製作 TOKAI RIKKA CO.,LTD.
- 東急リニューアル 株式会社 TOKYU RENEWAL CO.,LTD.
- 株式会社 栃木屋 TOCHIYAMA CO.,LTD.
- 株式会社 ニッケンハードウェア NIKKEN HARDWARE CO.,LTD.
- 株式会社 日本ロックサービス Nihon Lock Service co.,LTD.
- 日本ロックセキュリティ協同組合 The Co-operative Association of Japan Lock Security
- 株式会社 ファースト・ロック FIRST LOCK CO.,LTD.
- 株式会社 フキ FUKI CO.,LTD.
- 株式会社 プラグイン22 PLUGIN22 CO.,LTD.
- マツロク 株式会社 MATSUROKU CO.,LTD.
- 株式会社 ミズタニ MIZUTANI CO.,LTD.
- 株式会社 ユニオン UNION CORPORATION

2023年6月1日現在
(As of June 1,2023)

2022年度 総会・理事会・部会活動経過 (2022年6月~2023年5月)

理事会

2022年度 第68回 定時理事会

2022年12月5日(月曜日)第68回定時理事会は、京都府中京区河原町御池ホテルオークラ京都3階「光舞の間」において、「日本ロック工業会第68回定時理事会」を開催した。

出席理事会員数11社、木村事務局長が議長となり、次の議案を付議した。

- 第1号議案 新役員紹介
- 第2号議案 各部会活動中間報告ならびに承認の件
- 第3号議案 中間収支報告の件
- 第4号議案 住宅内装錠(空錠)に関する検討報告および方針承認の件
- 第5号議案 JLMAスクール活動承認の件
- 第6号議案 5団体防犯建物部品普及促進協議会活動報告の件
- 第7号議案 その他
 - 会員代表者変更の件
 - 総会日時承認の件
 - 警視庁研修報告の件
 - 第25期役員改選について

以上、議案については原案通り異議なく承認可決ならびに確認された。

2023年度 第69回 定時理事会

2023年4月20日(木曜日)第69回定時理事会は、法曹会館富士の間にて開催しました。

- 第1号議案 第25期役員(理事)(案)決定承認の件
- 第2号議案 第25期役員(監事)(案)決定承認の件
- 第3号議案 第25期部会担当会社(部会長・副部会長・部員)(案)決定承認の件
- 第4号議案 第24期事業報告書(案)承認の件
- 第5号議案 第24期収支決算報告書(案)承認の件
- 第6号議案 第25期事業計画(案)承認の件
- 第7号議案 第25期収支予算(案)承認の件
- 第8号議案 5団体防犯建物部品普及促進協議会活動報告の件
- 第9号議案 その他
 - 会員種別変更の件
 - 会員入会・退会・社名変更の件
 - 定時総会の審議承認の件

以上、議案については原案通り異議なく承認可決ならびに確認された。

2023年度 第70回 定時理事会

2023年5月25日(木曜日)第70回定時理事会は、法曹会館富士の間にて開催しました。

議案:第25期役員改選(案)承認の件

以上、議案については原案通り異議なく承認可決ならびに確認された。



業務・研修部会

- 第1回(第206回) 2022年6月15日(日本ロック工業会:東京)
- 第2回(第207回) 2022年7月20日(日本ロック工業会:東京)
- 第3回(第208回) 2022年8月29日(日本ロック工業会:東京)
- 第4回(第209回) 2022年10月7日(日本ロック工業会:東京)
- 第5回(第210回) 2022年11月18日(日本ロック工業会:東京)
- 第6回(第211回) 2023年1月25日(日本ロック工業会:東京)
- 第7回(第212回) 2023年2月22日(日本ロック工業会:東京)
- 第8回(第213回) 2023年4月7日(日本ロック工業会:東京)

技術部会

住宅用内装錠事前打合せ

- 1回目 2022年6月15日(日本ロック工業会:東京)
- 2回目 2022年10月20日(日本ロック工業会:東京)

暴露試験結果確認

- 2023年1月27日(淀川製鋼所試験所:淡路島)
- 2023年2月24日(淀川製鋼所試験所:淡路島)

住宅用内装錠WG

- 2023年3月10日(日本ロック工業会:東京)

実用性能審査委員会・審査会

実用性能審査委員会

- 第1回(第22回) 2022年4月6日(日本ロック工業会:東京)
- 第2回(第23回) 2023年3月27日(日本ロック工業会:東京)

実用性能審査会

- 第1回(第75回) 2022年4月5日(日本ロック工業会:東京)
- 第2回(第76回) 2022年6月15日(日本ロック工業会:東京)
- 第3回(第77回) 2022年7月5日(日本ロック工業会:東京)
- 第4回(第78回) 2022年10月24日(日本ロック工業会:東京)
- 第5回(第79回) 2023年3月27日(日本ロック工業会:東京)

JLMA試験所審査

- 第1回(サーベイランス) 2023年1月26日(株式会社ゴール:大阪)
- 第2回(サーベイランス) 2023年1月27日(株式会社WEST inx:大阪)
- 第3回(サーベイランス) 2023年2月7日(ドルマカバジャパン株式会社:横浜)
- 第4回(サーベイランス) 2023年2月17日(株式会社ユージン・ショウワ:大阪)

2023年度 事業計画

CP審査委員会

官民試験員講習会

- 第1回（一般試験員講習会）
2022年10月14日（株式会社アルファ：横浜）
第2回（特殊技能試験員技能確認）
2022年10月14日（株式会社アルファ：横浜）

CP試験審査委員会（追加・変更審査）

- 第1回（第189回） 2022年 6月23日（日本ロック工業会：東京）
第2回（第190回） 2022年 9月22日（日本ロック工業会：東京）
第3回（第191回） 2022年10月14日（株式会社アルファ：横浜）
第4回（第192回） 2022年10月27日（株式会社アルファ：横浜）
第5回（第193回） 2022年11月17日（日本ロック工業会：東京）
第6回（第194回） 2023年 1月18日（日本ロック工業会：東京）
第7回（第195回） 2023年 2月15日（日本ロック工業会：東京）
第8回（第196回） 2023年 3月16日（株式会社アルファ：横浜）

官民CP試験

- 第1回 2022年10月27日（株式会社アルファ：横浜）
第2回 2023年 3月16日（株式会社アルファ：横浜）

耐ピッキング性能試験

- 第1回（第43回） 2022年 7月28日（日本ロック工業会：東京）
第2回（第44回） 2022年11月17日（日本ロック工業会：東京）
第3回（第45回） 2022年12月20日（日本ロック工業会：東京）

自主点検委員会

- 第1回（第40回） 2022年8月25・26日（日本ロック工業会：東京）



部会長会議

- 第1回（第27回）2022年 4月13日（日本ロック工業会：東京）
第2回（第28回）2023年 4月13日（日本ロック工業会：東京）

5団体防犯建物部品普及促進協議会

- 第1回（第216回）2022年 6月20日（日本シャッター・ドア協会：東京）
第2回（第217回）2022年 7月19日（日本シャッター・ドア協会：東京）
第3回（第218回）2022年 8月22日（日本シャッター・ドア協会：東京）
第4回（第219回）2022年 9月20日（日本シャッター・ドア協会：東京）
第5回（第220回）2022年10月17日（日本シャッター・ドア協会：東京）
第6回（第221回）2022年11月21日（日本シャッター・ドア協会：東京）
第7回（第222回）2022年12月19日（日本シャッター・ドア協会：東京）
第8回（第223回）2023年 1月16日（日本シャッター・ドア協会：東京）
第9回（第224回）2023年 2月20日（日本シャッター・ドア協会：東京）
第10回（第225回）2023年 3月20日（日本シャッター・ドア協会：東京）

公益社団法人日本防犯設備協会

2022年度RBSS審議会 2022年 6月28日（日本防犯設備協会：東京）

東京都安全・安心まちづくり協議会

第1回（第20回総会）2022年 7月 6日（オンライン会議）

防犯建物部品「CP錠」の普及活動

- 第1回 「住宅点検の日」シンポジウム（WEBセミナー）
2022年10月10日（（一社）リビングアメニティ協会）
第2回 2022年度関東管区警察学校防犯実務専科教養課程
2022年11月16日（関東管区警察学校）



第3回 日経SECURITYSHOW2023（東京ビッグサイト）
2023年 2月28日～3月3日 ブース出展・セミナー



研修依頼（警視庁）

- ・研修および教養期間：令和 4年10月1日から11月22日
- ・派遣者：警視庁刑事部捜査第三課 巡査部長



2023年度（25期）事業基本方針

- 錠の規格・基準・審査規定の制定および開示
 - ①住宅用内装錠の規格・基準の制定
 - ②CPにおける電気錠の防犯性能基準の検討
 - ③暴露試験に伴うシリンダーの運用方法の検討
- 錠の正しい知識（安全性・耐久性）の啓蒙活動
 - ①住宅用内装錠の交換需要（耐用年数・定期点検）に関する啓蒙活動
 - ②実用性能認定制度の関連団体への周知活動
 - ③CP錠の普及活動
- 関係官庁との情報収集
 - ①CP錠の普及方策の検討
 - ②住宅用内装錠の情報収集活動
 - ③広域強盗事件に関する情報収集
- 人材育成（JLMA会員対象）
 - ①防犯性能に関する勉強会の開催
 - ②JLMA制度に関する勉強会の開催

業務・研修部会

部会長会社 株式会社 オプナス
副部会長会社 株式会社 ゴール/ミネベアショーワ株式会社

- 住宅用内装錠における耐用年数の存在・定期点検の必要性を啓蒙する。
- 実用性能認定制度を関連団体に周知させる。
- CP錠の普及活動を行う。
- CP錠の普及方策の検討をする。
- 防犯性能に関する勉強会を開催する。
- JLMA制度に関する勉強会を開催する。

技術部会

部会長会社 美和ロック 株式会社
副部会長会社 株式会社 アルファ/株式会社 ゴール

- 錠の規格・基準・審査規定の制定および開示
- 錠の正しい知識（安全性・耐久性）の啓蒙活動
- 日本サッシ協会国際標準化部会への参加
- デジタルドアロック国際規格作成への参加

実用性能審査会

委員長会社 株式会社 ゴール

- 実用性能認定制度審査の厳正、且つ円滑な運用体制の構築
 - ①JLMA試験所のサーベイランス審査の実施
 - ②JLMA製品サーベイランスの見直し
 - ③製品申請受付、及び審査の実施
 - ④審査会メンバーの教育研修（定期講習会等の実施）
計画：講習会及び試験所審査実施研修等（年1回以上）
 - ⑤実用性能認定制度の運用上の課題検討
 - ⑥電気錠製品の評価等、運用上の課題検討
 - ⑦公共建築工事標準仕様書へのスペックイン活動

CP審査委員会

委員長会社 株式会社 アルファ

- 指定建物錠の防犯性能の表示に関する基準への対応
- 官民合同会議関連の全ての審査
 - ①官民試験（一般錠+電気錠）/ピッキング性能試験
 - ②CP試験員WG（一般試験員講習会指導）
 - ③CP試験の統一化（JLMA試験所での実施）
 - ④電気錠WG（官民審査の見直し）
- JLMA内の技術的案件に対する全ての審査
 - ①CP審査委員会
 - ②予備審査管理WG
- 自主点検委員会
 - ①第18回自主点検実施
 - ②是正確認

事務局

- 錠の正しい知識（安全性・耐久性）の啓蒙活動
 - ①実用性能認定制度の関連団体への周知活動
 - ②住宅用内装錠の耐用年数（10年）の理解を得る。
- CP錠の普及活動と情報収集
 - ①CP商品の普及活動として、警察庁からの情報収集を図る。
- 人材育成（JLMA会員対象）
 - ①勉強会開催に伴う準備
- 事務局体制の整備

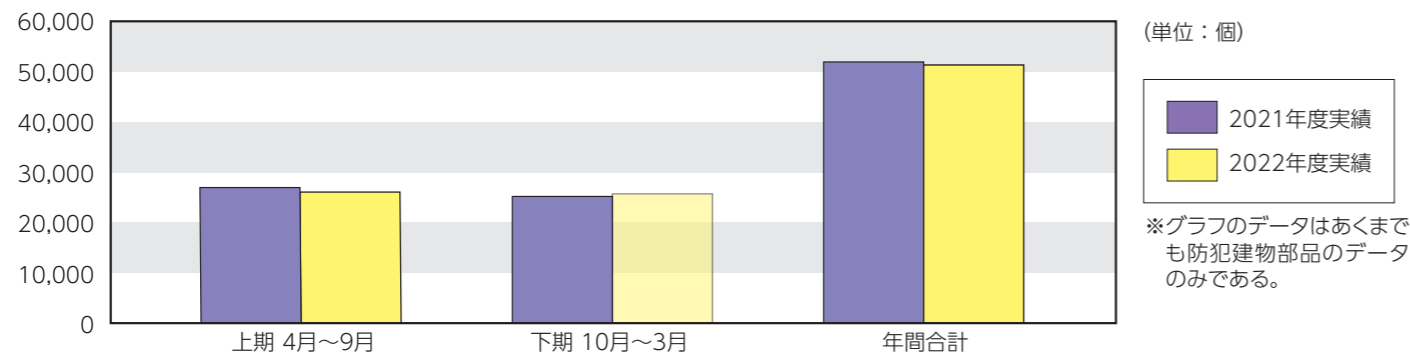
関連資料 〈業務・研修部会〉

2022年度 JLMA防犯建物部品の普及情報

名称	種別	上期 2022年4月～9月			下期 2022年10月～2023年3月			2022年4月～2023年3月		
		指定建物錠	防犯建物部品	CP/指定建物錠	指定建物錠	防犯建物部品	CP/指定建物錠	指定建物錠	防犯建物部品	CP/指定建物錠
シリンダー錠		1,559,039	24,886	1.60%	1,708,248	24,713	1.45%	3,267,287	49,599	1.52%
シリンダー		1,583,156	423	0.03%	1,455,694	274	0.02%	3,038,850	697	0.02%
サムターン		108,416	326	0.30%	115,385	456	0.40%	223,801	782	0.35%
2022年度実績		3,250,611	25,635	0.79%	3,279,327	25,443	0.78%	6,529,938	51,078	0.78%
2021年度実績		3,085,392	26,856	0.87%	3,583,557	24,937	0.70%	6,668,949	51,793	0.78%

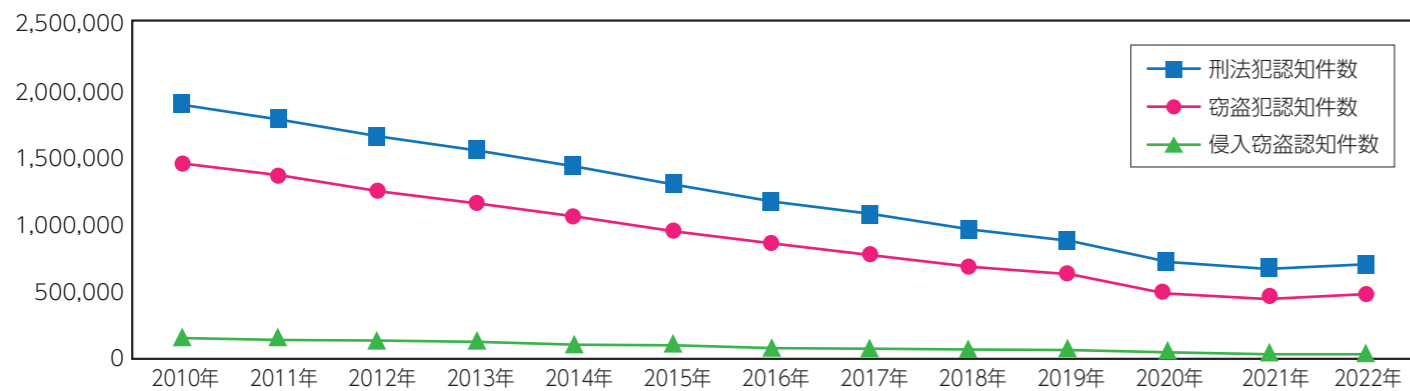
(単位：個)

防犯建物部品出荷数推移比較 (2021年度・2022年度)



2022年度の指定建物錠の合計出荷数量は、前年比97.9と減少。
防犯建物部品の合計出荷数量においては、前年比の98.6%と減少。防犯建物部品が指定建物錠総数に占める割合は前年度0.91%から0.78%となり減少。今後もさらなる全防連、5団体との連携を図りCP普及促進における啓蒙活動が必要。

警察庁統計 認知件数



(単位：件) 出展：警察庁

◇刑法犯の認知件数は2002年をピークに一貫して減少しており、犯罪情勢には一定の改善がみられる。近年の刑法犯の認知件数の減少は、窃盗犯の認知件数の減少が大きな要因となっている。侵入窃盗の認知件数は、2003年以降減少に転じ、2022年は36,588件、前年比-2%と19年連続で減少しています。また、このうち住宅対象侵入窃盗は、2004年以降減少しており、2022年は15,692件で前年比-9.2%と、同じく連続して減少しています。

JLMA TOPICS

トピック1 第31回 SECURITY SHOW 2023 ステージセミナー (東京ビッグサイト)

テーマ：「我が家を守る CP 製品 2023」

- (1) 5 団体防犯建物部品普及促進協議会について
- (2) CP 製品を活用したリフォーム
- (3) 防犯建物部品 (CP) に関する補助制度について
- (4) 5月13日は「安全・安心「防犯の日」の制定
- (5) 住宅性能表示制度の概要

5 団体防犯建物部品普及促進協議会
<https://www.bouhan-cp.jp>



トピック2 室内錠を「安全」にご使用いただくために!!

住宅の室内錠の生産台数は月に約 28 万台 (当会アンケート) 生産されており、多くの住宅で使用されています。メンテナンス無しに長期間に渡って使用していると思われ事故 (閉じ込めなど) にもつながります。

マンションのトイレ等の開口部が 1ヶ所しか無い場所に、長期間使用された室内錠の破損による閉じ込め事故を減らすために、一般ユーザー向けのチラシを日本ロック工業会で作成いたしました。

室内錠は定期点検が必要であり、耐用年数 10 年が過ぎた製品の点検・交換を啓蒙するため、当会 HP より印刷し啓蒙活動にご協力ください。よろしくお願いたします。

JLMA ホームページから印刷できますので御使用ください



トピック3 叙勲・褒章受章者による宮殿内見学及び記念撮影 (令和2年秋、令和3年春、令和3年秋合同実施)

実施日：令和 5 年 1 月 30 日 (月)

見学場所：皇居「春秋の間」

当会の加藤会長は令和 3 年春に叙勲を受賞、宮殿内見学及び記念撮影を予定されていましたが、新型コロナウイルス緊急事態宣言等で延期になり今回の実施となりました。



記念撮影 (1 段目の真中が加藤会長)



叙勲受賞 加藤会長

連絡情報

全国で相次ぐ一連の強盗事件に対して、防犯性能の高い建物部品の普及促進強化期間を設定。5 団体防犯建物部品普及促進協議会 (必要に応じて官民合同会議) において、建物部品関連団体と警察庁、経済産業省及び国土交通省が防犯性能の高い建物部品 (CP 製品) の更なる普及促進方策を検討し順次実行する。



下記ホームページから印刷できますので御使用ください
<https://www.bouhan-cp.jp>

JILMA岸本新体制スタート

新会長挨拶

前会長は約30年前に錠前業界へ来られました。その前職にかかわりのあった電機業界では業界内でまとまった工業会があり活動しているが、錠前業界はまとまりが悪いところが見受けられる。今後安全・安心を担う役目を果たす業界であるならば、日本の錠前業界がまとまって、世の中へ発信していくことが必要ではないかとの信念から各メーカーをまとめ上げました。

その後10年間は副会長として活躍され、会長として14年間業界を牽引して頂き今日に至っております。初代会長はピッキングへの対応を行い。その後業界の骨組みを作り、活動を牽引した生き字引が二代目会長であります。今後は新体制となりますが敢えて変わる必要はなく、加藤会長の路線を引き継ぎ、推奨しながら活動していきたいと思っています。従来メカ錠、空錠中心の活動から昨今は電気錠と業種が変化してきています。新たな業種の参入へ対応していかなければなりません。新しい酒は新しい革袋に盛れと言われますが、全く新しく変わるのではなく、加藤会長が築かれた27年間の骨格を活かしアドバイスを頂きながらこの業界を発展していければと思っております。そのためには、皆様の協力がなければこの業界はまとまりませんのでよろしくお願いいたします。

第25期 新役員・役職のご紹介



会長
株式会社 ゴール
代表取締役社長
岸本 俊仁



副会長
美和ロック 株式会社
代表取締役社長
川邊 浩史



副会長
株式会社 オフナス
代表取締役社長
峯村 陽一



監事
ドルマカバジャパン 株式会社
代表取締役社長
保科 靖生



理事
株式会社 アルファ
取締役副社長執行役員
齊藤 雄一



理事
株式会社 WEST inx
代表取締役社長
西 康雄



理事
株式会社 川口技研
取締役社長
納口 成一郎



理事
株式会社 シブタニ
代表取締役社長
石橋 芳男



理事
株式会社 ベスト
代表取締役社長
太田 哲郎



理事
ミネベアショウワ 株式会社
代表取締役社長
早川 哲典

CP製品の展示紹介（5団体防犯建物部品普及促進協議会）

CP製品紹介コーナーは警視庁広報センター警察参考室、広報センターポリスマジューリアム、千葉県警警察本部、神奈川県警警察本部等に常設展示しており、新たに埼玉県警察本部資料室にも設置されました。

侵入窃盗防止の広報活動の一環としてCP部品に関する説明パネル及び一部部品がご覧いただけます。



埼玉県警察本部



警視庁



警察博物館



神奈川県警察本部



千葉県警察本部

問い合わせ先

- 埼玉県警察本部 TEL:048-832-0110
埼玉県警察PRセンター:さいたま市浦和区高砂3-15-1
- 警視庁広報課 TEL:03-3581-4321
広報センター警察参考室:千代田区霞が関2-1-1
広報センターポリスマジューリアム(警察博物館):中央区京橋3-5-1
- 神奈川県警察本部 TEL:045-211-1212
広報センター:横浜市中区海岸通2-4
- 千葉県警察本部 TEL:043-201-0110
広報センター:千葉市中央区長洲1-9-1

会員会社情報

【退会会員/賛助会員1社】 ○承認日 / 2023年4月20日
会員種別: 賛助会員
会社名: 株式会社 トーショウビルサービス 代表者: 代表取締役社長 境 勝則

【会員種別変更】 ○承認日 / 2023年4月20日
株式会社 Keiden (旧) 正会員 ▶ 賛助会員

【会員代表責任者変更】 ○承認日 / 2023年4月20日
会員種別: 正会員
ミネベアショウワ株式会社 (旧) 代表取締役社長 高溝敏幸 ▶ 代表取締役社長 早川哲典
株式会社ベスト (旧) 取締役 鈴木教純 ▶ 代表取締役社長 太田哲郎

会員種別: 賛助会員
株式会社 Keiden (旧) 代表取締役社長 酒井由美子 ▶ 代表取締役 小林 香



防犯性能の高い建物部品

安全・安心「防犯の日」の制定

5月13日は安全・安心「防犯の日」

5月13日はCPマークの商標を出願した日です

JLMA 日本ロック工業会

https://www.jlma.org

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-7-2
フジタビル6階

TEL.03-3518-9938 FAX.03-3518-9939